

主催：日本膜学会
共催：化学工学会，早稲田大学研究開発センター
協賛：高分子学会，触媒学会，日本ゼオライト学会，日本イオン交換学会，日本化学会，日本海水学会，日本吸着学会，日本生物物理学会，日本DDS学会，日本分析化学会，日本水環境学会，日本薬学会，日本薬剤学会，日本薬物動態学会

開催日：2022年6月9日（木）～10日（金）

会場：

- ・口頭発表：早稲田大学研究開発センター（121号館）とオンラインを併用したハイブリッド開催【口頭発表はハイブリッド開催ですので，現地で発表いただいても，オンライン（Zoom）で発表いただいてもどちらでも構いません。】
- ・ポスター発表：完全オンライン開催

発表形式：口頭発表およびポスター発表

発表時間：

- ・口頭発表：発表12分，討論3分
- ・ポスター発表：60分
 （奇数番号：2022年6月9日（木）14：00～15：00，偶数番号：15：00～16：00）ポスター発表はZoomのブレイクアウトルーム機能を使用します。ブレイクアウトルームは，Zoom会議に参加した後，会議の中で複数の部屋に分かれて並行して会議を行う機能です。ポスター毎に1つの部屋を割り当てますので，その部屋の中で発表を行っていただきます。

詳細：詳細は第44年会のウェブサイトをご覧ください。
<http://www.maku-jp.org/symposium/>

懇親会：会場にて，飲食なしの簡単な懇親会を予定。

要旨集について：要旨集冊子体は発行しません。

第44年会終了後，要旨集CD版を7,000円（税別）で販売します。

プログラム：

6月9日（木）16：00～18：00

●特別講演：

- 「窒素循環技術としての分離濃縮」（産業技術総合研究所）川本 徹
- 「赤血球膜と赤血球の変形能～酸化ストレスと血液レオロジー～」（九州大学）○丸山 徹，稗田道成

6月9日（木）10：00～12：00

◆生体膜シンポジウム：

「脂質膜・生体膜を見る・計測する」

オーガナイザー：（富山大学）中野 実

- 1) 「中性子小角散乱法を用いたリン脂質の膜間移動の評価」（富山大学）中野 実
- 2) 「発生胚表面のメカニクス：原子間力顕微鏡測定」（北海道大学）岡嶋孝治
- 3) 「新しい脂質2重膜法（CBB法）で探る膜-チャンネルの双方向性作用」（福井大学）老木成稔
- 4) 「電子顕微鏡による膜脂質分布の解析」（順天堂大学）○辻 琢磨，藤本豊士

6月10日（金）10：00～12：00

◆人工膜シンポジウム1：

「量子ビームで拓くイオン交換膜の未来」

オーガナイザー：（量子科学技術研究開発機構高崎研）八巻徹也

- 1) 「量子ビームで拓くイオン交換膜の未来～カーボンニュートラル実現に向けて～」（量子科学技術研究開発機構高崎研）八巻徹也
- 2) 「熱化学水素製造法ISプロセスのためのヨウ化水素濃縮用イオン交換膜の開発」（日本原子力研究開発機構大洗研¹，量子科学技術研究開発機構高崎研²）○田中伸幸¹，澤田真一²，八巻徹也²
- 3) 「イオン飛跡グラフト重合法を用いた高耐圧性モザイク荷電膜の開発」（山口大院創成科学，山口大学BEST）○垣花百合子，比嘉 充
- 4) 「中性子準弾性散乱によるNafion膜中の水分子ダイナミクス解明」（総合科学研究機構中性子科学センター）山田 武

6月10日（金）14：00～16：00

◆人工膜シンポジウム2：

「膜による水処理技術を展望するXII～MBR技術の深化」

オーガナイザー：（工学院大学）赤松憲樹，（栗田工業（株））川勝孝博，（東レ（株））谷口雅英

- 1) 「MBRにおけるバイオフィウリング形成機構と制御への挑戦」（金沢大学¹，茨城大学²）○本多 了¹，Phuc-Nguon Hong¹，野口 愛²
- 2) 「膜面バイオフィルムを形成する微生物：細菌の特定から制御へ」（産業技術総合研究所¹，長岡技術科学大学²）滝本祐也¹，三輪 徹²，○幡本将史²
- 3) 「平膜を用いたMBRによる下水処理場のリニューアル」（（株）クボタ）○阪口 遼，吉崎 健
- 4) 「嫌気MBRの膜汚染挙動解析」（栗田工業（株））小松和也

6月10日（金）14：00～16：00

◆境界領域シンポジウム：「人工酸素運搬体の最前線」

オーガナイザー：（東京大学）伊藤大知

- 1) 「備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究」
（奈良県立医科大学¹，旭川医科大学²）○酒井宏水¹，久禮智子¹，小林直子¹，東 寛²
- 2) 「人工酸素運搬体パーフルオロカーボンエマルジョンの開発」（神戸学院大学）福島昭二
- 3) 「（ヘモグロビン-アルブミン）クラスター型人工酸素運搬体の開発」（中央大学）小松晃之
- 4) 「微小血管における人工酸素運搬体の流動特性と酸素供給に関する数値解析」
（横浜国立大学）百武 徹

6月10日（金）10：15～11：45

◆企業からの発表セッション

- 1) 「逆浸透膜向け薬注最適化システム オルスマートRO」
（オルガノ（株））○鈴木雄大，吉川 浩，田熊康秀
- 2) 「圧力挙動の詳細解析による膜モジュールの内部状態把握」
（（株）クラレ）○松本一樹，藪野洋平，村田周和
- 3) 「AGCにおける次世代イオン交換膜の開発動向」
（AGC（株））○早部慎太郎，奥山 匠，角倉康介，西尾拓久央
- 4) 「濾過膜からリポソームまで，アントンパールのゼータ電位測定ソリューション」
（（株）アントンパール・ジャパン）高木則一
- 5) 「測定精度と短時間測定を両立したヘリウム不要のガス吸着装置NovaX00による測定事例」

（（株）アントンパール・ジャパン）高塚隆之

- 6) 「チューブラー型RO/NF膜を用いた廃水処理について」
（ダイセン・メンブレン・システムズ（株））井上洋司

6月10日（金）16：30～17：30

◆日本膜学会膜学研究奨励賞受賞記念講演

- 1) 「リン脂質フリップフロップ促進ペプチドの開発とその細胞機能制御への応用に関する研究」
（富山大学）中尾裕之
- 2) 「ショウジョウバエ細胞を用いた生体膜脂質の動態および機能の解明」（京都薬科大学）長尾耕治郎
- 3) 「大気圧プラズマCVD法によるシリカ系気体分離膜の低温・超高速製膜技術の開発」
（広島大学）長澤寛規

組織委員会

会 長：岡村恵美子（姫路獨協大学）

副会長：宮田隆志（関西大学），中塚修志（ダイセン・メンブレン・システムズ），山口猛央（東京工業大学）

事務局：渡部恭吉

組織委員長：比嘉 充（山口大学）

組織副委員長：伊藤大知（東京大学）

委 員：赤松憲樹（工学院大学），川勝孝博（栗田工業），酒井 求（早稲田大学），杉本 悠（山口大学），高羽洋充（工学院大学），谷口雅英（東レ），通阪栄一（山口大学），中野 実（富山大学），野村幹弘（芝浦工業大学），松方正彦（早稲田大学），八巻徹也（量子研高崎）